

あの企業は
こう使っている！

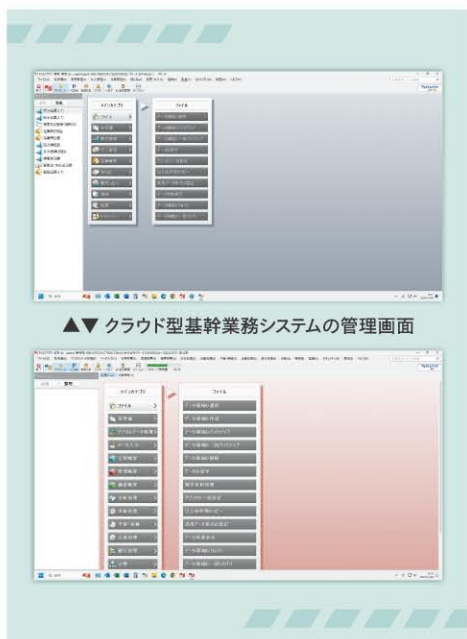
事例に学ぶ IT・IoT導入

株式会社マリーヌ

〒761-0303 香川県高松市六条町842-1
TEL:087-868-5311
HP:https://www.marriene.co.jp

化粧品・美容健康関連商品の企画・販売

快適な生活をサポートする美容・健康関連商品(化粧品、美容器、健康食品など)の企画、製造、販売を行っています。



▲▼クラウド型基幹業務システムの管理画面



ビジネスデータ保全のためには フレキシブルなIT導入が欠かせなかった

長期使用で社内サーバーの
老朽化が深刻な状況に

同社では、美容・健康関連商品などの卸売、OEMの企画や製造を行うかたわら、自社ECサイトでフェイスマスクなどのオリジナル商品の販売を行っています。20年以上前から社内サーバーを保有し、販売、仕入、在庫などの基幹業務システムを保守運用してきました。ところが、長期の使用によってサーバーが老朽化。ほとんど壊れかけのような状態で稼働していることが大きな課題でした。「突然の故障やデータ破損などのリスクを回避するためにもすぐに更新したかったのが本音です。しかし、社内にサーバー管理ができる人材がいなかったため不具合やトラブルが生じても誰もてんで分からず。常に代理店を頼っているような現状がありました。このままサーバーを更新しても持て余すことが目に見えており、非常に悩んでいました。ちょうどその頃、社会にクラウド型システムが登場してきたことを知り、熟考し

た結果、不安はありましたが思い切った移行を決めました」と三崎常務取締役。

クラウド型システムへの移行で
保守運用コストを大幅に削減

導入したのは、従来と同様に販売、仕入、在庫の管理ができるクラウド型基幹業務システム。社内でサーバーを持たずにシステム利用が実現し、保守運用コストの大幅削減につながっています。さらに、会計システムとの連携ができるようになったことで経営や販売分析に必要なデータがシームレスに抽出可能に。より正確な売れ筋商品の調査や売上計画を作成することができています。「当社は3年前に社長が代替わりしたことで変革期にも長所と短所の両方を見直し、時代に合わせたフレキシブルな企業の在り方やITの導入を少しずつ進めていきたいと考えています」と三崎常務取締役は意気込みを語ってくれました。

図解！ IT導入ビフォー&アフター

Before

技術者の退職により、サーバーやシステムを保守管理できる人材がゼロに

技術者
退職

あれ、システムが反応しない…？

また代理店に診てもらわないと

自社サーバー

保守運用コスト 高

長年の使用で設備が老朽化。サーバーやシステムの不具合に怯える日々

お客さまから在庫数の確認頼まれてるのに

自社サーバー

サーバーの寿命がきたらどうしよう

販売、仕入、在庫管理システム etc

- 課題1** システムや自社サーバーを保守管理できる人材がない
- システムやサーバーに精通していた唯一の技術者が退職し、保守管理できる人がゼロに。以降は不具合が発生するたび、代理店の人を呼んで対処してもらおうな状況になった。
- 課題2** サーバーの老朽化が進む
- 20年以上前から使用しているサーバーは老朽化が進み、ほとんど壊れかけのような状態。販売や仕入、在庫の管理をしているシステムデータなどへ影響を及ぼす前に更新する必要があった。
- 課題3** 自社サーバーの保守運用コストの高さが目立つように
- 自社でサーバーを運用していると、ハードウェア(本体)の更新やサーバーの点検・整備ができる技術者を雇う必要がありコストがかさむ。

After

クラウド型基幹業務システム

株式会社 マリーヌの HPはこちらから

- PCA商魂・商管 + PCAクラウド会計
- 販売、仕入、在庫、会計の管理。データの連動も可能。
 - 入金、支払の消し込み作業が一括、個別でできる
 - 元帳、試算表、決算書などの作成 etc

保守運用コストを大幅削減！常に適切な環境下で、快適な業務システム利用が可能に

誰でもデータを参照でき、お客さま対応の正確性UP！



効果1 システムやサーバーを自社で保守管理する必要がなくなった

サービス提供会社がサーバーやシステムの保守管理を行ってくれるため、技術者がいなくても運用することが可能に。法改正への対応やシステムのアップデートなども気にする必要がなくなった。

効果2 全社でスムーズな情報共有が可能に

商品コードさえ入力できれば誰でも商品の在庫や販売状況が確認できるように。さらに、社内での情報格差がなくなったことで、お客さまに正確な在庫状況などが伝えられている。

効果3 売上計画や経営判断の指標の一つに

売れ筋商品や月次の売上変動など経営分析に必要な情報の収集が可能。必要なデータのみを抽出して二次利用することで売上計画を練ったり、経営判断の材料にしたりと情報の有効活用ができています。

担当Tの編集後記

取材企業のあれやこれや話

三崎氏

当社は、今まさに変革期へ入ったばかり。これから先も長く続く企業を目指し、時間をかけて企業全体の在り方を見直していると考えています。社内インフラ整備に限らず、企業イメージも刷新していきたいです。

が期待できますね！

と、各従業員がICカードをかざすだけでそれぞれの出勤情報が毎日、自動記録され、手間がかかる労働計算や有給記録を手作業で行う必要がなくなります。業務のIT化を進めることで、今後も業務効率アップや作業時間の短縮が期待できますね！